

明日をつくるデザインを提案

佐賀県立有田工業高校デザイン科3年生の島田花穂さん(福島・原)ら3人の女子高中生チームが全国高等学校デザイン選手権大会で優勝。



Interview 島田^{かほ}花穂さん(写真右) 有田工業高校3年生

全国高等学校デザイン選手権大会(通称:デザセン)とは、色や形による造形的な美術表現の技術を競うものではなく、人や社会を豊かにするためのアイデアを競う大会です。

有田工業高校に通う島田花穂さん(松浦市)、川添ころろさん(佐世保市)、田中みづきさん(佐賀市)の3人が、10月30日に山形県で行われたデザセン決勝大会に出場し、『あなたのおうちに。開局!選挙チャンネル』と題した、テレビを利用した斬新な選挙運動を提案。見事!優勝の栄冠に輝き、参加932チーム(95校)の頂点に立ちました。

Cこの人に
LOSE UP!
まつうら
輝人キラリ

Q 優勝(文部科学大臣賞)の感想をお聞かせください。

A 決勝大会の当日は、テンションも最高潮に達し、120%の力を出し切ることができました。審査員や客席の反応も良く、ある程度の自信はありましたが、結果として最高の賞を獲得することができました。興奮していたせいか、会場では優勝の実感がなく、学校に帰ってから、友達のおめでどうの声を聞いて少しずつわいてきました。

Q 選挙のことを課題とした理由は。

A 東日本大震災の発生で国内がたいへんな時に、テレビの国会中継では復興のための話し合いではなく、政治家たちがお互いの足を引っ張り合っているような様子が流れていました。



◎ PROFILE

島田 花穂さん (福島・原、18)

学校でデザインを学ぶほか、サックス演奏、絵画、手芸と幅広く手掛ける芸術系女子。将来は写真に携わる職業を目指しています。

見ていて、もどかしい気持ちになりましたが、この人たちを選んだのは私たち国民です。選ぶ側と選ばれる側の距離がもつと近づき、互いに理解し合えるような、もつと分かりやすい選挙運動がないかと思いつき、この課題を取り上げました。

Q 一番たいへんだったことは。

A 選んだ課題が難しく、公職選挙法からテレビ局のしくみまで分厚い参考書を広げ、3人で手分けしながら必死に勉強しました。

デザセンの出場を通じて、先生やたくさんの人に支えられながら、チームメイトと共に頑張れたことは、自分にとっていい経験になり、将来に役立つものだと思います。

Q チームメイトはどんな存在。

A 私は、人一倍緊張しやすく、気が弱いところがあるのですが、2人が居てくれるとすごく安心します。いつも明るく元気に私を引っ張ってくれる頼もしい友達です。

My First Live 私の初めてのライブ



ハナ・レベッカ・コンクリン
Hannah Rebecca Conklin

アメリカ合衆国出身

私は小学校3年生の時から、打楽器を演奏してきました。5年生では、スクール・バンドに所属し、ハイスクールではドラムの演奏を学びました。16歳の時には、最初のロックバンドを結成し、以来いろいろなバンドでドラムを演奏してきました。私にとって、ドラムは本当に楽しいものであり、人前で演奏することも平気です。

18歳のころからはギターを弾き、歌を作っていました。日本に来るまでそれほど真剣になったことはありませんでした。とにかく仕事から帰るとギターを取り出し、弾き始める。そして自分は、ほかの人の曲を演奏することはあまり得意じゃないと気づき、自分の歌を作り始めたところ、何か新しい物を創造することは本当に気持ちが良いと感じました。このようなことを繰り返してきましたが、ライブをしたことはありませんでした。

しかし、チャンスがやってきました。佐世保のライブハウスが演奏をして良いと言ってくれたのです。

フェイスブックで広報をしたところ、25人もの人々が遠くは生月や大村から私のために来てくれました。私は不安でしたが、多くの友達が私の演奏を聴きにきてくれたことに感動しました。私のことをこんなに大切に思ってくれる人たちに囲まれていることを本当に幸せだと思いました。

ライブでは、たくさん間違いもしましたが、とても楽しかったです。また近い将来演奏できることを楽しみにしています。皆さんも私のライブを見に来ませんか？



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

『句集 記憶』

宇多喜代子／角川学芸出版

前作「象」で蛇笏賞を受賞し10年、第六句集となる『記憶』が刊行されました。10年の歳月をかけた句集ですが、年間30句余りと厳選された句が収録されています。これまで句集を手にする機会がなかった人にもお薦めしたい一冊です。



『空の絵本』

長田弘／講談社

詩人である長田弘氏と絵本界で国際的な評価を受ける荒井良二氏の絵本。二人の前作となる「森の絵本」とは一味違った作品で、刻々と変わる空がドラマチックに表現されています。読後に一息ついたら、空を見上げたくなる絵本です。



◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆ ※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館も大歓迎です！

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どものお気に入りの1冊を紹介します。



志佐町浦免の田淵真由美さんと
中央君(3歳)、壮真君(1歳)

【お気に入りの本】

『バーバパパのABC バーバパパ・知識のえほん①』

アネット＝チゾン＆タラス＝テイラー／さく 講談社

『アンパンマンとホラ・ホラコ アンパンマンのおはなしわくわく②』

やなせたかし／さく フレーベル館

【お母さんからひとこと】

「図書館に行くのが楽しみで幼稚園の帰りによく「図書館に行こう!」と言っています。今、お兄ちゃんの中央君はアンパンマンとローマ字の本がお気に入りのようで、図書館でも自分で探して見えています。

たくさん本があるので「これ何?」と聞かれたりもします。弟は1歳になったばかりですが、赤ちゃん用の本もあるのでゆっくり見せることができます。これからも多くの本に触れさせたいと思います。」